



碌山美術館報

第 45 号

令和 7 年 3 月 25 日 発行

編集 發行 (公財) 碌山美術館

〒399-8303 長野県安曇野市
穂高5095-1

TEL 0263-82-2094

FAX 0263-82-9070

<http://www.rokuzan.jp/>

印刷 信教印刷(株)



基俊太郎《カテドラル》2002年、コールテン鋼、36.6×24.4×24.1cm

(写真：基敦)

空間を「プレイ」する

二〇二四年四月二〇日〜六月十六日にかけて『生涯百年基俊太郎展』を開催した。彫刻十五点、絵画三点、スケッチ六点、木版画六点、図面(彫刻一点、建築一点)等のほかデザインしたテーブルや椅子もあわせて展示し、表現領域が多岐に亘っていたことを鑑賞者に感じ取っていただけたことを企画展とした。

会期中に設置したアンケートには「無機質なのになぜか柔らかさを感じる」「軽妙でポップな感じが新鮮」「モダンな感じがして素敵」などのコメントが寄せられ、基の感性が鑑賞者に確かに伝わっているとの実感を得た。

基は空間を、尺度感のない「見る空間(視覚空間)」と尺度感のある「歩く空間(住空間)」とに分類し、前者のように見るだけの空間ではなく、後者のように体感できる(基の言葉で言えば「空間をプレイする」)空間を重視した。そして芸術は前者のようなものとするれば異次元のものではなく、後者のように日常性のあるものだと考えていた。この「住空間」という空間意識、幾何学的造形感覚、あわせてイサム・ノグチのプレイ・スカルプチャーの可能性への追求が『カテドラル』にはよく現れている。

学芸員 武井 敏